

私たちはたくさんの方に支えられています。

■ 担当教員からのメッセージ



原 直行先生
香川大学経済学部教授
グリーン・ツーリズムインストラクター認定

そうなんだ！
これを望んでいたんだ！！

地域づくり活動の場は、学生を育てる最高の教室です。

学生と私2人で瀬戸内海の豊島に移住した人のインタビューをしていた時のことでした。その人のこれまでの人生を振り返りながら、豊島に移住した経緯を学生が主となって聞いていました。3時間にも及ぶインタビューが終わり、お礼を述べて帰ろうとした時、豊島の地域づくりでお世話になっているその人が突然、学生に向かってこう切り出してきたのです。「〇〇君、キミはいつも先生とこの豊島に来て、いろいろな地域づくり活動に参加してくれているけれど、キミ自身はここで一番何がしたいの？豊島に通ってやっていることはとてもありがたいと思っている。でも、それがキミにとってどのような意味があるのかと思って…。よかったら今度はキミが私に話してもらえないか」。私も教室でよく学生に尋ねますが、学生は「まだわかりません」などとはっきり答えてくれませんが、でも地域の人から聞かれたら、たとえ「まだわからなくても」真剣に考えて答えなければなりません。そうなのです。地域づくり活動に携わりながら、学生は地域からも教育してもらっているのです。



水野ゼミ

地域へのインバウンド
観光振興について
考えています。

ゼミの活動

直島で、外国人観光客アンケート調査を行っている様子です。英語で作成したアンケート用紙に、外国人観光客に実際に記入していただきました。



キムゼミ

観光主体と地域空間
の調査研究をして
います。

視察先での活動

ゼミでアンケートの作成方法や地図作成ソフトの使用方法を学びながら、実際に九州や滋賀県の地域へ視察に出かけました。現在は、それらをもとに論文の作成を行っています。

■ 卒業生からのメッセージ

先輩から聞く！ 地域交流の魅力

田中 美理さん

2009年 卒業
山陰合同銀行勤務



地域活性化の運動に携わることで
身に付いた「**生きた勉強**」が
社会人になっても、**自分の根底**にある。

豊島と、豊島に住む人びととの出会いは、私を大きく成長させました。豊島では「何でもやってみよう」という考えの下、本当にいろいろなことをやりました。全島民アンケート、田植えに稲刈り、時には鶏の解体まで。島民の方と協力し合って地域活性化を

模索した経験は、学校で授業を受けているだけでは学べない「生きた勉強」となりました。社会人となり地元へ帰った今、豊島で学んだ地域との関わり方は、自分これからどう地元と関わっていくか、考える上での道筋となっています。

先輩から聞く！ 地域交流の魅力

山神 有香さん

2008年 卒業
百十四銀行勤務



地域活動の中で目覚めた“**地元愛**”。
人とのつながりに感謝し、
これからも香川を盛り上げていきたい。

私は大学3、4年生のときに高松のまち歩きコースを考え、案内するという「まちかど漫遊帖」に参加しました。この体験で多くの人と出会い、地域活性化の楽しさ、それをビジネス化することの難しさなど現場で学ぶことができま

した。そして、何より地域を愛する気持ちが芽生えたのです。そのとき芽生えた地元愛が、生まれ育った香川で就職を決める後押しになったように思います。今でも、お世話になった高松の人々や先生に感謝しています。